



月刊 千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

94.8.29 No. 4052

12月ダイヤ改 700-800km 列車削減

8/25 千葉支社概要提案

【12月ダイヤ改の概要】

- ・ローカル線普通列車の削減
- ・「あやめ」2往復の廃止
- ・「ビューさざなみ」「ビューわかしお」の運転拡大(2往復→5往復へ)
- ・「成田エクスプレス」の編成両数の増大
- ・通勤特急の新設(上総一宮～東京間、東京～佐倉間)
- ・新型近郊電車(E217系)の投入
- ・「通勤快速」の新設
- ・成田線(成田～我孫子間)の編成両数の増大
- ・土曜日の休日ダイヤ化(総武緩行線、京葉線、武蔵野線)
- ・内外房線の朝通勤時に編成両数の増大
- ・内外房線の昼間帯における発車時分の均等化
- ・ダイヤ改日=12月3日

八月二十五日、「十二月ダイヤ改」についての概要提案が行なわれた。しかし、その内容は、またも七〇〇km～八〇〇kmのローカル線を切り捨てようとする断じて認めることのできないものである。

しかも、千葉支社当局は、廃止列車等列車設定の基本的な考え方すら、一切明らかにしないという、極めて不誠実な対応に終始した。

十二・三ダイヤ改合理化粉碎・ローカル線切り捨て阻止に向け全力で闘いにたとう!

またもローカル線切り捨て!

組 提案を見ると、十二月ダイヤ改は、昨年七月・十二月ダイヤ改に続いて、またも、ローカル線を全面的に切り捨てる内容となっており、断じて容認することはできない。資料では、「ローカル列車を廃止する」と書かれているだけで、具体的な列車設定の考え方が全く明らかにされていないが管内の列車設定キ口はどうな

るのか。

当 具体的には色々な角度からつめている段階であるが、列車キ口は、減・増トータルで七〇〇km～八〇〇kmの減となる。

組 ローカル列車の廃止について、どの線区、どの区間で何本の列車の廃止を考えているのか、基本的な列車設定の考え方を明らかにされたい。

当 今日冒頭にも述べたとおりダイヤ改に関する基本的な考え方の説明という位置づけであり、施策について議論を願いたいので、具体的に明らかにする考えはない。

組 すでに考え方が決まっているはずのことまで言わないとはどういうことか。なぜ出さ

ないのか。とくにローカル線の切り捨てという問題は、労資のみならず地域にとっても重大な影響を受ける問題だ。施策について議論をしたいなどと言っているが、わずか一行しか書いていないもので何を議論しろというのか。

当 貴側にキ口数を言っただけでも大変なことだ。九月中旬にはオープンにする。その時点で組合にも正式に提案する予定である。

組 ダイヤ改は、現場で働く者にとって、最大の関心事だ。地域にとってもそうさ。それをなぜ、隠しとおそうとするのか。なぜこんな不誠実な対応をするのか。

派出所検査体制の見直し

箇所	現	改
津田沼派出所	1徹1日	→ 日勤化か?
銚子派出所		→
館山派出所	2徹	→ 1徹1日か?
安房鴨川派出所		→